

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年後期	2	2	選択
担当教員			
伊藤 明倫			
添付ファイル			
講義概要	近代から現代にかけてアートは、様々なメディアや、他ジャンル、社会との関わりによって多様な表現や実験を繰り返して来た。そのようなアートと周辺ジャンルとの関係性や、アートの歴史、表現方法について実制作も行いながら学んでいく。 この科目は、グラフィックデザイン分野の実務経験のある教員が担当する科目である。		
授業計画	1 ガイダンス 2 アート思考 アート思考について・近代から現代のアートの歴史と技法・レディメイド、ミニマルアート、 コンセプチュアルアートなど／映像鑑賞とレポート 準備学習：コンテンポラリーアートについて各自で調べておく AL① 3 映像鑑賞とレポート メディアアート映像鑑賞・次回ローテーション課題説明／映像鑑賞とレポート 準備学習：メディアアーティストを1人or1組選び、各自で調べておく。 4 ローテーション課題1-1 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：デジタル課題ではmacを使用するので、macの操作基礎を各自で調べておく。 AL④ 5 ローテーション課題1-2 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：アナログ課題では実際に図形を描いてもらうので、必要なペンや鉛筆を用意しておく。 AL④ 6 ローテーション課題1-3 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：撮影課題では、実際に撮影してもらうので、スマホのカメラの使い方を各自で調べておく。 AL④ 7 ローテーション課題1-4 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：フィールドワーク課題では、実際にキャンパス内をフィールドワークしてもらうので、大学敷地内の建物や施設を把握しておくこと。 AL④ 8 デザイン思考 デザイン思考について・デザインの役割と方法・色、文字、レイアウトの基本。 授業内で、小課題をいくつか行う。 準備学習：各自でデザインレイアウトとは何かを調べておくこと。 AL①、AL③ 9 音・音楽 音とアート・実験音楽・様々な実験的音楽のジャンルの映像鑑賞とレポート 準備学習：各自で、オリコンやビルボードチャートには入らないマイノリティな音楽ジャンルについて調べておくこと。 AL① 10 ビジュアルプログラミング言語体験 アプリケーションを各自のPCにインストールし、ビジュアルプログラミング言語を体験する。 準備学習：各自で指定されたアプリケーションをインストールしておくこと。 11 映像鑑賞とレポート メディアアート映像鑑賞・次回ローテーション課題説明／映像鑑賞とレポート 準備学習：メディアアーティストを1人or1組選び、各自で調べておく。 12 ローテーション課題2-1 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：デジタル課題ではmacを使用するので、macの操作基礎を各自で調べておく。 AL④		

	13	ローテーション課題2-2 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：アナログ課題では実際に図形を描いてもらうので、必要なペンや鉛筆を用意しておく。 AL④
	14	ローテーション課題2-3 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：撮影課題では、実際に撮影してもらうので、スマホのカメラの使い方を各自で調べておく。 AL④
	15	ローテーション課題2-4 デジタル・アナログ・撮影・フィールドワークの4つのテーマに沿ってグループごとに制作課題を行う。 準備学習：フィールドワーク課題では、実際にキャンパス内をフィールドワークしてもらうので、大学敷地内の建物や施設を把握しておくこと。 AL④
授業形態	講義と演習 アクティブラーニング：①:3回, ②: 0 回, ③:1回, ④:8回, ⑤: 0 回, ⑥:0回	
達成目標	近代以降のアートの多様な考え方を理解し、様々な視点で物事を捉え、ジャンルを越えた相関関係を理解できること	
評価方法・フィードバック	出席、レポート、課題によって評価。原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。	
評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)	
教科書・参考書	なし	
履修条件	アートやデザインに興味・意欲のある学生	
履修上の注意	なし	
準備学習と課題の内容	多様な視点で考察する能動的姿勢と、制作への積極的参加ができるようにしてください。毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度。	
ディプロマポリシーとの関連割合(必須)	知識・理解:20%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:30%, 態度:10%, 技能・表現:20%	
DP1 知識・理解		
DP2 思考判断		
DP3 関心意欲		
DP4 態度		
DP5 技能・表現		